

第5章

投資計画と財政収支の見通し

5.1 投資計画	58
5.2 収益的収支の見通し	59
5.3 資本的収支の見通し	60
5.4 債務の見通し	61
5.5 料金・費用の見通し	62



第5章 投資計画と財政収支の見通し

5.1 投資計画

この章では、第4章に示した基本方針と実現方策において、個別の整備スケジュールを

まとめ、持続可能な投資計画であるか財政面から検証を行います。

表 5-1-1 投資計画スケジュール

分類	項目	計画期間											該当頁	
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
新規整備	既成市街地 汚水整備	前ヶ崎7ha	●	●										42
		古間木11ha	●	●										42
		青田・駒木台15ha	●	●										42
		駒木5ha	●	●										42
	既成市街地雨水整備	大堀川1号幹線			●	●	●	●						51
	TX沿線	汚水整備	●	●	●	●	●	●						42
	運動公園周辺地区	雨水整備	●	●	●	●	●	●						42
浄化槽整備		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	46	
ストック マネジメント	老朽化した施設の 点検・改築・更新	若葉台団地	●	●										48
		平和台団地				●	●	●	●					48
		駒木台団地											●	48
		美田団地	●	●	●	●								48
		四季野団地								●	●	●	●	48
		マンホールポンプ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	48

【5.1 投資計画の分類】

- ◇ 新規整備としては、令和6（2024）年度までに既成市街地の汚水整備を概成し、令和10（2028）年度までに運動公園周辺地区の汚水・雨水整備を完了する予定です。
また、浸水対策として大堀川1号幹線の雨水整備を行います。
- ◇ 浄化槽整備については、年間50基、10年間で合計500基の合併浄化槽への転換を目指します。
- ◇ スtockマネジメントについては、老朽化した管路の点検・改築を行うとともに、マンホールポンプの更新を順次行います。

5.2 収益的収支の見通し

収益的収入は、主に下水道使用料金等から得られる収益と一般会計からの雨水処理負担金からなっています。

収益的支出については、流域下水道維持管理負担金が多くを占めております。(図5-2-1)

維持管理負担金は、汚水量の伸びに合わせて増加し、汚水量の伸びが収まってくると維持管理負担金も減少傾向となります。

純利益(収益的収支-収益的支出)は増加傾向となり、令和9(2027)年度以降は、年間約1.4億円となります。(図5-2-2)

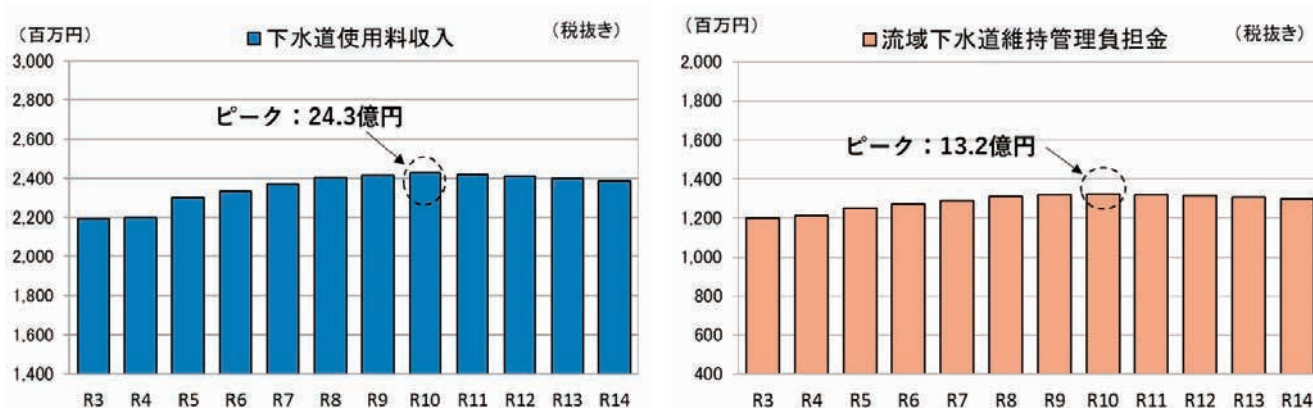


図5-2-1 下水道使用料収入、流域下水道維持管理負担金の推移

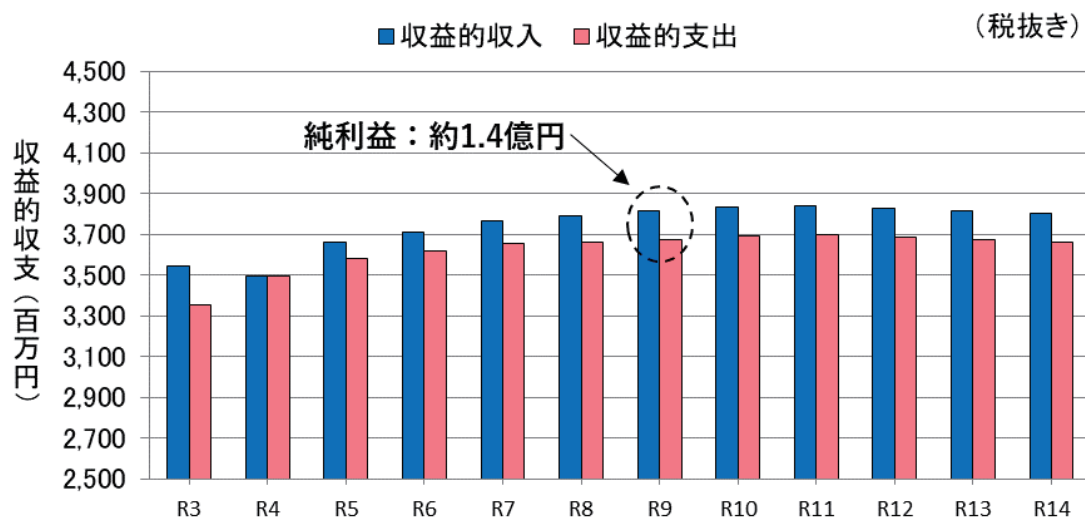


図5-2-2 収益的収支の推移

下水道使用料金：下水道使用者が負担する財源で汚水処理の維持管理に使用されます。
 一般会計(負担金、繰入金)：市が負担する財源で雨水処理の整備、維持管理に使用されます。浄化槽整備促進計画の上乗せ補助金は一般会計繰入金を使用して市が負担します。
 流域下水道維持管理負担金：流域下水道事業では、維持管理に必要な費用を千葉県と関係市で負担しています。

5.3 資本的収支の見通し

資本的収入は、企業債の発行の程度により各年度でばらつきがあります。(図 5-3-1)

資本的支出は、既成市街地の汚水整備が概成する令和 6(2024)年度まで年間約 27 億円の支出となります。

その後は、TX 沿線整備が令和 10(2028)年度まで年間約 4 億円、既成市街地の雨水整備が令和 8(2026)年度から令和 10(2028)年度にかけて年間約 1.8 億円となります。

また、下水道事業ストックマネジメントとして令和 5(2023)年度、令和 6(2024)

年度では年間約 1 億円、令和 7(2025)年度以降年間約 3 億円の支出となり、TX 沿線整備、既成市街地の雨水整備が完了する令和 10(2028)年度までは、年間約 18~20 億円の支出となります。

その後は、ストックマネジメント整備事業を中心に、年間約 13 億円の支出となります。

資金残高については、大きな工事が急に必要になった時などに備えるため、計画期間内において 10 億円以上の確保を目標とします。

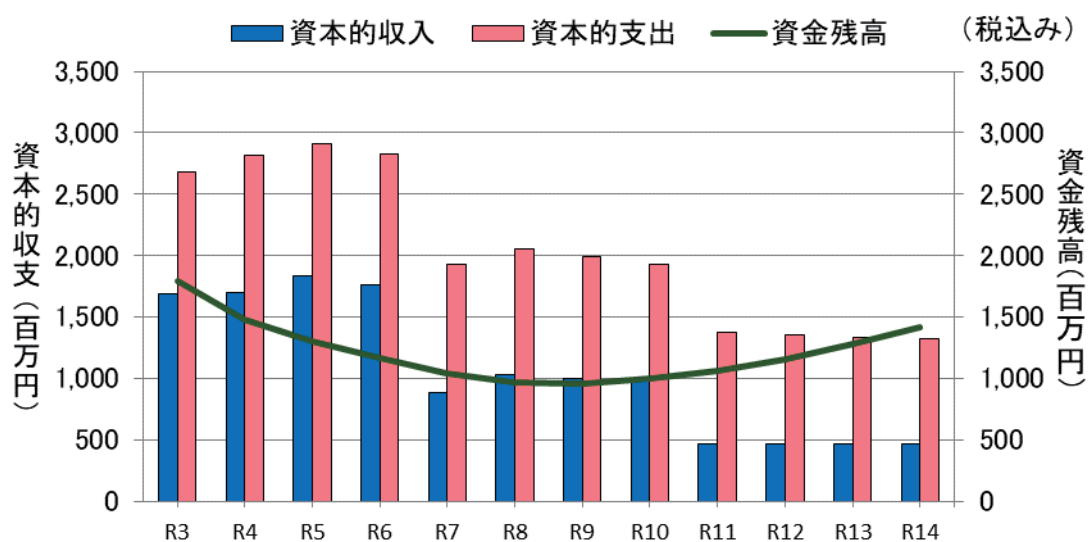


図 5-3-1 資本的収支の推移

5.4 債務の見通し

企業債借入額は、既成市街地が概成する令和6（2024）年度には、約8億円の借入となります。その後減少し、令和10（2028）年度のTX沿線の整備、雨水幹線の整備完了後は、管路の改築更新が主となり、企業債借入額は約2.2億円で横ばいとなります。（図5-

4-1）

企業債元金償還額、企業債残高は、これまでも減少していましたが、今後さらに減少し、令和14（2032）年度には、企業債残高が約110億円となります。

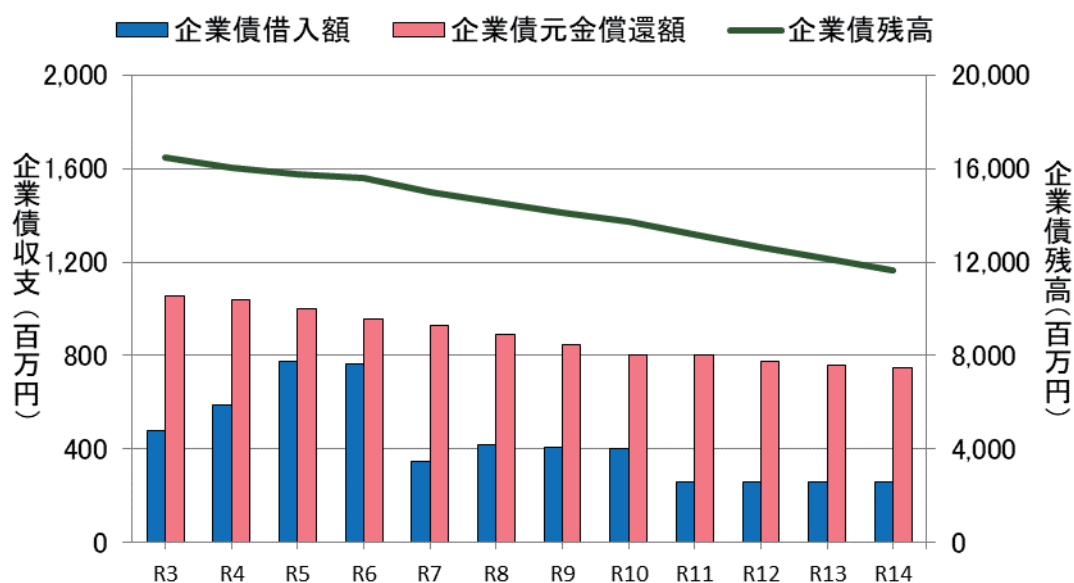


図5-4-1 企業債関連指標の推移

5.5 料金・費用の見通し

本市では下水道区域内の人口が増加傾向であり、令和7（2025）年度には経費回収率が100%を超える見込みです。このことから、計画期間内の下水道料金の見直しは行わない予定です。（図5-5-1）

今後、流域下水道の維持管理負担金が見直しされる場合は、それに併せた下水道使用料

の見直しが必要となるため、引き続き千葉県
の動向に注意が必要となります。

費用としては、汚水の整備完了後は、下水道事業ストックマネジメントとして、老朽化した管路の改築や更新を行っていく必要があり、そのための適切な費用の見積もりと確保が必要となります。

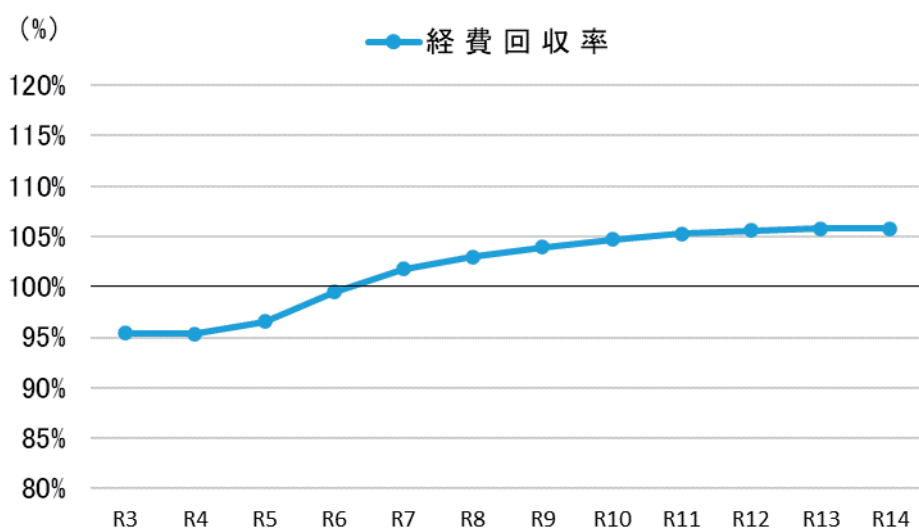


図5-5-1 経費回収率の推移

経費回収率：汚水処理に要した費用に対する下水道使用料による回収率を示すものです。この数値は高いほど経営が健全であり、100%をわずかに上回ることが理想です。
(下水道使用料収入/汚水処理費) × 100

流山市上下水道事業運営審議会委員名簿

委員の構成	委員氏名（敬称略）		
	役職	氏名	備考
受益者を 代表する者	副会長	高橋 信行	市民代表（公募）
		琉 哲夫	//
		笹倉 恵子	//
		荒木 利雄	//
		金井 直美	//
		豊田 ゆずり	//
		小西 茂雄	//
		鳥羽 洋子	//
		金子 百合子	//
学識経験を 有する者	会長	佐藤 弘泰	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
		羽根田 卓一	元 公益社団法人 日本水道協会職員
		伊藤 勝	学校法人 江戸川大学名誉教授
		小西 道生	北千葉広域水道企業団参事
		島田 將士	千葉県江戸川下水道事務所所長
		藪谷 直幸	

流山市下水道ビジョン策定の経過

令和3（2021）年10月20日（水）

流山市下水道ビジョン策定に着手

令和4（2022）年3月16日（水）

令和3年度第3回流山市上下水道運営審議会

流山市下水道ビジョンの策定について

令和4（2022）年8月5日（金）

令和4年度第1回流山市上下水道運営審議会

流山市下水道ビジョンの策定について諮問

令和4（2022）年10月5日（水）

令和4年度第2回流山市上下水道運営審議会

流山市下水道ビジョンの策定について

令和4（2022）年11月21日（月）～令和4（2022）年12月20日（火）

パブリックコメント実施

令和5（2023）年1月27日（金）

流山市上下水道運営審議会

流山市下水道ビジョンについて答申

令和5年3月

公表



流山市上下水道局



流山市下水道ビジョン
2023-2032

発行 令和5年3月 第1刷
作成 流山市上下水道局